

●地域コミュニティ施策の基本指針進捗状況

基本指針項目		2016～2020年度			2021年度	2022年度	2023年度予定			
指針1. 地域特性尊重の原則	1. 地域コミュニティの実態把握と指針に基づく取り組みの推進	住民の参加度の低い地域に対する支援策の充実・検討(カルテPT)	指針4、5と連携して支援策の運用(マンションセミナーの開催)	地域の課題と情報の共有(地域コミュニティ支援アドバイザーの活用(支援者会議))	課題のある地域の抽出と地域への支援(地域コミュニティ支援アドバイザーの活用(支援者会議))	地域組織基礎調査等を実施	まちづくり関係職員向けに地域の基礎データ(GIS版)活用研修を実施	庁内GISを活用した地域カルテ作成	地域組織基礎調査の実施	【資料4】1①地域コーディネーターの配置(市・区のコーディネート機能強化)
	2. 住民参加度の低い地域への対応									
	3. マンションコミュニティへの対応			マンションにおける地域活動の支援		神戸市マンション管理届出等制度の開始				
	4. 総合的・自律的運営の展開	総合的・自律的運営の制度設計(PT(全体会))		総合的・自律的運営の制度設計⇒屋上屋を重ねる新たな地域団体は設けず、ふれまち協の発展・育成		総合的・自律的運営に向けた具体的な検討		地域特性に応じた地域運営の検討		
指針2. 縦割りの行政の弊害解消と総合化	1. 助成手続きの共通化・簡略化、調整機能の強化	補助金手続きの共通化・簡略化(補助金PT)	補助金の整理・統合と交付金化の検討⇒関係部署と協議⇒統合補助金の制度設計	補助金の整理・統合と交付金化の検討⇒ふれまち助成の見直し		補助金申請の電子化推進				
	2. 補助金の総合化や交付金化の検討	補助金調整機能の強化(補助金PT)				補助金の整理・統合に向けた検討				ふれまち助成の手続き簡素化
	3. 地域団体への協力依頼のルール化			自治会・管理組合へのチラシ配布をルール化						
指針3. 地域コミュニティの自律的な運営を支えるため、区役所の体制充実、支援者間やNPO等との連携強化に向けたコーディネートの検討	1. 地域を担当する組織及び職員の充実	まちづくり関係職員研修						体系的な研修システムの構築		
	2. プラットフォーム機能強化	プラットフォーム機能の周知・発揮	協働と参画のプラットフォーム	(神戸ソーシャルキャンパス)	(神戸ソーシャルブリッジ開設)	withコロナ KOBÉ貢献応援プラットフォーム	「社会貢献活動の交流拠点」(KIITO)の構築			
	3. 自律的運営を支える地域活動拠点のあり方や、事務局機能向上への支援	地域福祉センターの利用促進(長期保全計画案作成)	地域福祉センターの利用促進⇒長期保全計画策定	地域団体の事務局機能	ふれまち協の会計事務支援	ふれまち協の会計事務や運営課題に関するアドバイザー派遣	地域福祉センターの施設、利用、管理運営についての検討	地域活動の場づくりや支援策の検討	ふれまち助成におけるサテライト助成の拡充	空き家等を活用した地域活動モデル事業
指針4. 地域課題の共有と合意形成への支援	1. GISを活用したデータ提供、協働による地域コミュニティのカルテづくり	地域コミュニティの実態把握(カルテPT)	モデル地区にてカルテ作成の実施(長田区:野田北部)	各地域コミュニティのカルテ作成支援				庁内GISを活用した地域カルテ作成(再掲)		庁内GISや統計ダッシュボードを活用した地域支援
	2. 地域内の合意形成及び将来像づくりへの支援		統計データのGISデータ化⇒基礎データ整備・公開					地域組織基礎調査の実施(再掲)		
指針5. 地域活動の新たな担い手発掘及び育成	1. 地域人材育成策の充実・体系化、フォローアップ	育成講座相互の役割分担の体系化(担い手PT)	体系的な講座案内(ポータルサイト「マチカツ」を開設、地域活動の先進的な事例紹介)							【資料4】2③自治会役員初任者研修の拡充 【資料4】2④地域の担い手育成事業
	2. 担い手発掘・活動参加のきっかけづくり	(神戸ソーシャルキャンパス)	(神戸ソーシャルブリッジ開設)	神戸ソーシャルブリッジ運用			「社会貢献活動の交流拠点」(KIITO)の構築(再掲)			
	各区において助成(地域提案型助成検討・実施)	各区において助成(ふれまち助成・伝統行事支援)					ふれまち助成における子育てメニューの拡充(再掲)			【資料4】1②マッチングシステムの構築(再掲)
	「協働と参画」の推進助成							地域課題に取り組むNPO等に対する補助金		【資料4】2①地域課題に取り組むNPO等に対する支援の充実
	ソーシャルビジネス推進助成						協働コーディネーターによる担い手の発掘			